

未来へつなぐまちづくりを 前進させるための予算

平成28年度予算を審議・原案可決

平成 28 年度各会計予算額

会計区分	平成 28 年度	平成 27 年度	増減額	前年度比
一般会計	497億7000万円	488億8000万円	8億9000万円	1.82%
水道事業会計	31億4800万円	32億7900万円	△1億3100万円	△4.00%
【新設】 公共下水道事業会計	73億3222万8000円	-	73億3222万8000円	皆増
国民健康保険事業 特別会計	213億0000万円	226億5600万円	△13億5600万円	△5.99%
介護保険事業特別会計	110億9900万円	107億6700万円	3億3200万円	3.08%
後期高齢者医療事業 特別会計	19億6100万円	17億6700万円	1億9400万円	10.98%
【廃止】 下水道事業特別会計	-	74億1000万円	△74億1000万円	皆減
計	946億1022万8000円	947億5900万円	△1億4877万2000円	△0.16%

平成 28 年度予算は、「豊かな自然・良好な住環境づくり」、「未来につなぐ出産・子育て」、「安全・安心で人との絆を大切にすまちなみづくり」、「にぎわいと交流を創出する地域経済活性化」の 4 つの施策を柱に「未来へつなぐまちづくりを前進させるための予算」として編成されました。

3月2日の本会議で23人の委員で構成する予算特別委員会を設置し、「一般会計予算」と、「水道事業会計予算」、新たに公営企業会計予算として「公共下水道事業会計予算」、そして「国民健康保険事業」、「介護保険事業」、「後期高齢者医療事業」の3特別会計予算の各議案を付託しました。同委員会は、7日、8日、9日に各分科会、24日に座長報告と採決を行い、審議の結果、原案のとおり可決しました。

(以下質疑、討論などの要旨を掲載)



務会 総分科

政策部・市長公室
財務部・市民部
会計課・監査事務局
選挙管理委員会事務局
議会事務局・消防本部

文化振興基金の活用について

問 市民の文化創造を促し、文化の振興を図るため設置している文化振興基金の残高はどうか。また、平成18年度以降、基金の取り崩しを行っているか、その活用につ

有することが重要であることから、自治会独自のマップ作成を提案した。危険個所の調査から始め、自主防災会倉庫など地域の情報を加えたものとし、自治会内に全戸配布するものである。

問 消防団員の周知について

答 消防団員と家族の支援を目的として、登録事業所が割引な

文教福社 分科会



生活困窮者の住環境整備について

問 生活困窮者の自立支援という観点から、生活基盤となる市営住宅などの住環境整備が必要と考えるが、現状と今後の取り組みはどのようなか。

答 市営住宅については、現在、集約事業を行っているため募集はしていない。事業の最終的な段階において、低家賃の民間アパートなどの状況も踏まえて、対応を検討していきたい。

環境都市 分科会

環境産業部
農業委員会事務局
建設部

木質バイオマスストーブの設置費の補助について

問 平成21年度からバイオマスストーブ設置費の補助をしているが、これまでの実績はどのようなか。また、市街地の住宅に設置する場合、煙やにおいなどの対策について、どのように説明しているのか。

答 27年度までに24件、183万7000円の補助を行っている。また、市街地の住宅に設置する場合は、なるべく煙が発生しないよう、まきなどをよく乾燥させてか

水道事業会計

県水受水費について

問 県企業庁との協定により、平成18年度から上限の4万2900立方メートルを責任水量とし、基本料金を負担している。しかし、実際にはその3割程度しか、受水していないため、協定を見直すこととはできないのか。

答 責任水量と実際に使用してい

駅前保育所の設置について

問 市内に4駅を抱える本市において、利便性の高い駅前周辺に保育所を設置することは、子育て支援策の充実につながるかと考えるか。

答 秦野駅周辺については、大秦ショッピングセンター建て替え後に、民間保育所を誘致する計画となっている。現時点では、他の3駅周辺での計画はないが、保育ニーズや民間事業者の動向などを注視しながら、誘致などの働きかけをしていきたい。

不妊・不育治療への支援について

問 晩婚化やライフスタイルの変化などの社会的要因により、不妊・不育治療の重要度は増してきているが、支援内容はどのようなか。

答 秦野市観光協会が運営を担っており、現在6人いる臨時職員のうち、4人は英語などの外国語対応が可能となっている。運営時間は、午前9時から午後5時まで、常時2人体制で年中無休である。

秦野駅観光案内所の運営について

問 平成27年9月に秦野駅改札横に観光案内所が設置されたが、運営はどのようなか。

答 秦野市観光協会が運営を担っており、現在6人いる臨時職員のうち、4人は英語などの外国語対応が可能となっている。運営時間は、午前9時から午後5時まで、常時2人体制で年中無休である。

建築物の耐震改修について

問 秦野市耐震改修促進計画を改

公共下水道事業会計

管路の耐震化について

問 防災上、特に重要と考えられる公共下水道区域の防災拠点や、広域避難所などから排水を受ける管路の耐震化の状況は、どのようなか。

答 防災上重要な管路として位置づけている約7万7000立方メートル、平成27年度末には、約57%

不妊治療については、県が行う助成に上乗せし、平成24年10月から5万円を上限に助成を行っている。また、不育治療については、保険外費用の2分の1の額、20万円を上限として、本市独自に助成を行っている。

西中学校体育館等の複合施設整備について

問 公募プロポーザル方式による応募事業者の辞退により計画を見直し、西中学校の体育館を新たに多機能型施設として整備することのことが、今後の取り組みはどのようなか。

答 先行して整備する消防署西分署の建て替え事業と連携した中で、多機能型体育館として必要な施設



年中無休の秦野駅観光案内所



多機能型体育館として整備される西中学校体育館

国民健康保険 事業特別会計

反対討論

資格証明書の発行をやめ被保険者証を発行し、市民が安心して受診できるよう強く要求して、反対する。

▼賛成討論

ジェネリック医薬品の普及率向上により、医療費を削減すること

地域包括ケアシステムの構築について

要望 地域包括ケアシステムを構築していくためには、生活支援体制の整備が重要となる。第1層の協議体を設置するに当たっては、地域ごとの第2層、第3層の協議

の規模や機能などを取りまとめた整備構想を策定し、事業の計画的な推進に努める。

要望 地域住民が待ち望んでいる施設であるため、引き続き意見を聴きながら、予定通り平成32年度までに完成させてほしい。